

公務上死亡災害の発生状況

(令和3年度認定分)

令和5年2月

地方公務員災害補償基金

第2 公務上死亡災害発生事例

【事例８】多量の石綿建材が使用された建物内での消火活動等においてばく露

団 体 区 分：一部事務組合等 職 員 の 区 分：消防職員
死 亡 年 齢：70歳台 災害発生年月：平成23年3月
傷 病 名：悪性胸膜中皮腫 左悪性胸膜中皮腫

（概 要）

被災職員は、消防吏員として勤務していた時期に、多量の石綿建材が建物等に使用されていた現場で、消火活動、火災原因調査、予防査察等を行っていた際に石綿にばく露し、「悪性胸膜中皮腫」、「左悪性胸膜中皮腫」に罹患し、死亡した。

（安全・衛生対策）

毎年、健康診断を実施している。現在は、防護マスクの着用を徹底している。

【事例９】石綿製品を建材に使用していた箇所の修理等に従事し石綿粉じんにはく露

団 体 区 分：市町村等 職 員 の 区 分：その他の職員
死 亡 年 齢：80歳台 災害発生年月：平成30年12月
傷 病 名：胸膜中皮腫

（概 要）

被災職員は、業務技師として45年間、学校、公営住宅等の石綿を使用していた市営建築物の営繕作業にマスク等を使用せず従事していた。退職後、平成30年に胸の痛みを感じ受診したところ悪性中皮腫と診断された。外来治療を経て入院治療を開始したが、令和元年12月に急変し死亡した。

(安全・衛生対策)

全ての施設について、石綿使用箇所の点検や室内環境測定を実施した上で、囲い込み等の処理を行い適切に維持管理している。

【事例１０】日常的に石綿を使用した水道管の切断作業や補修を行えばく露

団 体 区 分： 市町村等

職 員 の 区 分： その他の職員

死 亡 年 齢： ７０歳台

災害発生年月： 令和２年１２月

傷 病 名： 悪性胸膜中皮腫

(概 要)

被災職員は、１７年間技師として水道事務所に勤務し、水道管の補修、改良等の作業を行っており、その際、石綿を吸引していた。令和２年１２月頃より左胸部痛があり内科を受診。その後、悪性中皮腫と診断を受けたもの。

(安全・衛生対策)

石綿セメント管を使用した水道管は町内から全て撤去されており、適切に維持管理を行っている。